

# 患者の皆様へ

2022年11月29日

呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、胸腺上皮性腫瘍における人工知能の有用性について多機関共同研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では各機関で胸腺上皮性腫瘍と診断された患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名

「胸腺上皮性腫瘍に対する人工知能の応用に関する多機関共同研究」

## 2. 研究の意義・目的

胸腺上皮性腫瘍と病理学的に診断された症例において、機械学習を用いて患者さんの臨床経過、血液検査、画像診断を解析します。これによりさまざまな臨床情報から、より適切な治療計画、特に手術治療の計画を適切に行えるようになり、治療アプローチの改善が得られる可能性があります。

## 3. 研究の方法

千葉大学医学部附属病院では2009年1月から2022年10月の間に、千葉県がんセンターでは2004年1月から2022年10月の間に、病理診断で胸腺上皮性腫瘍と診断された方の治療歴、既往歴、合併症などについて診療録に記載されている範囲で収集して解析を行います。試料は用いません。

## 4. 研究が行われる機関および研究者名

千葉大学医学部附属病院と千葉県がんセンターによる多機関共同研究です。研究代表者は千葉大学医学部附属病院の吉野一郎であり、研究責任者は千葉大学医学部附属病院では吉野一郎、千葉県がんセンターでは岩田剛和です。研究分担者は千葉大学医学部附属病院では鈴木秀海、小野里優希であり、千葉県がんセンターでは小野里優希、岩田剛和です。

## 5. 個人情報の取り扱いについて

個人を容易に特定可能な情報（氏名、ID、生年月日、住所等）は、情報管理責任者である鈴木秀海（千葉大学医学部附属病院）と岩田剛和（千葉県がんセンター）が厳重に管理します。各機関の試料・情報が他研究機関へ提供される可能性はありません。解析終了後、解析に用いた情報は情報管理責任者の責任の下、施錠可能な保管庫で厳重に管理し、5年間保存した後に完全に消去します。研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際には患者さんを特定できる個人情報が用いられることはありません。

## 6. 研究の資金源および利益相反について

本研究は、呼吸器外科の運営資金を用いて行います。本研究の実施に関連して、研究者が開示すべき利益相反はありません。研究者の利益相反については、千葉大学医学部附属病院利益相反委員会が適切に管理しています。利益相反情報の開示をご希望の方は、研究責任者にご連絡ください。

#### 7. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています

本研究は千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会で承認され、千葉大学医学部附属病院および千葉県がんセンターの各病院長から研究実施の許可が得られています。

#### 8. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学大学院医学研究院 呼吸器病態外科学

本件のお問合せ先 : ①医学部附属病院 呼吸器外科

医師 鈴木 秀海

043 (222) 7171 内線 5464

②千葉県がんセンター 呼吸器外科

医師 岩田 剛和

043 (264) 5431